

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年6月19日 NO.22

オー君 「あれ？校長先生だ。」
花ちゃん 「何をしているのかな。」
3年生 「今ね、校長先生といっしょにお勉強しているんです。」
オー君 「図工のお勉強かな。」
3年生 「図工室でやっているけど、これは理科の授業なんです。」



花ちゃん 「理科の授業？何やるんですか。」
校長先生 「3年生の理科のお勉強では、身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長のきまりや体のつくりについてお勉強するのさ。また、身のまわりの生物の様子を調べ、生物は、色・形・大きさなどにちがいがあることを学ぶんだよ。」



花ちゃん 「なるほど。それで、図工室で何をやっているんですか。」
3年生 「えっへん！それでは、今から3年生が説明します。まず、うら庭に行って、いろいろな植物の葉っぱをたくさんとってきます。」
3年生 「第七小学校のうら庭には、いろいろな種類の植物があると、モンタ博士もいつも言っています。」
3年生 「とってきた葉っぱを図工室で、布にスタンプします。」
3年生 「みんなでいっせいにはできないので、スタンプマンと、お助けマンに分かれて、協力しながらやります。」
オー君 「それで、それで・・・。」

3年生 「まず、スタンプマンは、自分のお気に入りの葉っぱに版画用のインク（緑）をローラーでぬります。」

3年生 「葉っぱのウラにぬるのがポイントなんです。」

花ちゃん 「どうして、ウラなの。」

3年生 「葉っぱのウラのほうが、植物の線がはっきりとしているからなんです。」

オー君 「なーるほど。そういうことですか。そして、その後どうするの。」

3年生 「それからが一番きんちょうするんだけど、布の上において、新聞紙をおいて、手でこするんだ。」

3年生 「あまり動かさないほうがきれいにできるそうなんです。」

3年生 「その後に、葉っぱをはがすんだけど、この時が一番の楽しみなんだ。」

3年生 「ほんとうだよ、わくわくドキドキするんだよ。」

3年生 「葉っぱをはがした瞬間（しゅんかん）に、ワアー！って声がいっぱいでした。」

3年生 「みんな、とってもきれいにできたと、校長先生がたくさんほめてくれたわ。」

3年生 「それからね、花ちゃん・オー君。これでおしまいではないのよ。」

花ちゃん・オー君 「え！その後、どうしたの。」

3年生 「上と下に丸いぼうを入れて、すてきなタペストリー（かべかけ）になったわ。」

3年生 「学校中のあちこちに、つるしてあるんです。みんなでぜひ見て下さい。」

モンタ博士 「次号は、タペストリーづくりの作文特集です。お楽しみに！」



文部科学省小学校学習指導要領「理科編 第3学年 B生命・地球 『身近な自然の観察』より抜粋

目標一身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。ア生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと（略）。一ここでは、身の回りの生物の様子やその周辺の環境について興味・関心をもって追求する活動を通して、身の回りの生物の様子やその周辺の環境とのかかわりを比較する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生物を愛護する態度を育て、身の回りの生物の様子やその周辺の環境との関係についての見方や考え方もつことができるようにすることがねらいである（略）。一様々な種類の植物や動物を見たり触れたりするなどの直接観察することを通して、生物の色、形、大きさ、手触りなど諸感覚で確認できる特徴をとらえるようにする（略）。